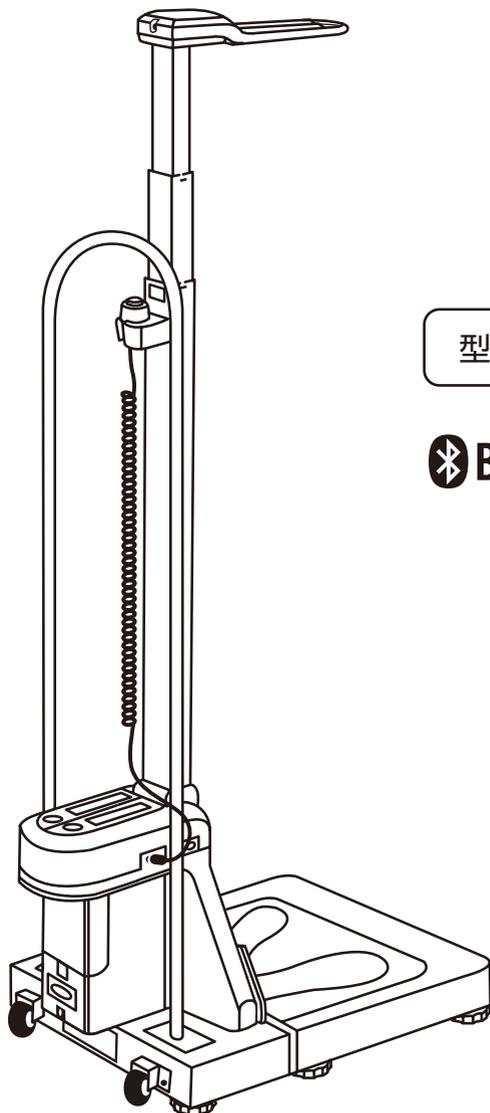


KDS

デジタル身長・体重計 DST-210SB

取扱説明書



型式承認 第 D088 号

 Bluetooth®

目次

はじめに	4	
注意事項の表記方法	4	
使用上（安全および危険防止）の注意事項	5	
安全測定のための警告および注意	8	
機器全体のご注意	8	
身長体重計使用上の注意事項	9	
Bluetooth 無線技術に関する注意	10	
1. 梱包内容	11	
1-1 本体梱包内容	11	
1-2 別売オプション	11	
2. 各部の名称と機能	12	
2-1 名称	12	
2-2 表示部	13	
2-3 本体仕様	14	
2-4 Bluetooth 無線技術仕様	14	
3. 機器の設置	15	
3-1 ホールドスイッチの取り付け方	15	
3-2 機器を水平に設置する	15	
4. 電源について	16	
4-1 AC 電源での使用	16	
4-2 電池での使用	16	
5. 使用方法	17	
5-1 ご使用前に	地域によって重さが変わる	17
5-2 測定を開始する（身長体重計モード）	17	
5-3 身長・体重測定	数値の安定が確認	18
6. いろんな機能	19	
6-1 基点検出機能	Err 表示	19
6-2 体重表示値安定報知機能	数値の安定が確認	19
6-3 ホールド（表示値一時保持）機能	20	
6-4 体重測定値オーバー表示機能	体重が 150kg を超えたら	20
6-5 バッテリーアラーム機能	乾電池が消耗したら	20
6-6 オートパワーオフ機能	21	
6-7 ブザー機能	音でも確認	21
6-8 ゼロセット（風袋引き）機能	風袋を引いた体重測定が可能	22

7. 測定結果のプリントアウト	23
7-1 集団検診モードと個人別肥満度検診モード	23
7-2 出力信号	23
7-3 使用方法	24
7-4 プリンターの印字例	24
8. コンピュータとの接続 (ケーブル接続)	25
8-1 マニュアルモードとコマンドモード	25
8-2 インターフェイス仕様	25
9. コンピュータとの接続 (Bluetooth 無線技術接続)	26
10. 外部表示ユニット (オプション) との接続	27
10-1 インターフェイス仕様	27
11. 機能の設定	28
11-1 機能の設定概略図	28
11-2 使用プリンターの設定	29
11-3 プリンター出力モードの設定 (肥満度判定機能)	29
11-4 オートパワーオフの設定 (自動節電機能)	30
11-5 ブザーの設定	30
11-6 コンピュータ出力モードの設定	31
11-7 Bluetooth 無線技術の設定	31
11-8 Bluetooth 無線技術の出力モード設定	32
11-9 Bluetooth 無線技術の ID 設定	32
11-10 工場出荷時の設定	33
11-11 自己診断・修正機能	33
11-12 はかりモード	定期検査を受ける場合 34
12. 重力加速度設定値および使用区域	35
12-1 地域別重力加速度一覧	どの地域でお使いですか 35
13. 使用前点検	36
13-1 電源投入前	36
13-2 電源投入後	36
14. 保守点検	37
14-1 電源投入前	37
14-2 電源投入後	37
15. こんな時には……故障かな? と思う前に	38

はじめに

この度は「デジタル身長・体重計」をお求めいただき、まことにありがとうございます。
本機器は光学式読み取り方式による身長計部と、高性能ロードセル方式の体重計部で構成された身長・体重計です。

身長と体重の同時測定はもちろんのこと、測定値を Bluetooth[®] 無線技術を使用して送信することで、データを記録したり、離れた場所でも測定結果が確認できます。

この取扱説明書は本機器を正しくご使用いただくために必要な情報を記載しています。製品をご使用前に必ずお読みの上、十分に理解されてからお使いください。

また、いつでも取り出せるよう大切に保管してください。

※ Bluetooth[®] ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。

ムラテック KDS 株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

警告サインの意味

 危険	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
 警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

	△ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを示しています。具体的な注意事項は △ の中や近くの文書や絵で記され、左図の場合は「感電注意」を示します。
	⊘ 記号はしてはいけないこと（禁止）を示しています。具体的な禁止内容は ⊘ の中や近くの文書や絵で記され、左図の場合「分解禁止」を示します。
	● 記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示しています。具体的な強制内容は ● の中や近くに文書や絵で記され、左図の場合は「守っていただきたいこと」を示します。

この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

- 1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- 2) 個々に記載されている外観および仕様は予告なしに変更することがあります。カタログ・取扱説明書の内容と多少異なる場合もありますのでご了承ください。
- 3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 4) 当社では、本機器の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、上記3)項にかかわらず如何なる責任も負いかねますのでご了承ください。

使用上（安全および危険防止）の注意事項

本機器を正しく安全にお使いいただくために、以下の注意事項を熟読された上でお取り扱いください。ここに記載されている内容は、機器の安全な取り扱いの他、測定者および被測定者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用前に本取扱説明書をご一読ください。

1. 機器の設置および保管は、次の点に注意してください。

 危険	
	<ul style="list-style-type: none"> ・可燃性の高い麻醉薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高压酸素室、酸素テナ内に本機器を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。
 注意	
	<p><input type="checkbox"/> 下記の使用環境、保管環境でご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水のかからない場所。 ・高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオン分などを含んだ空気にさらされない場所。 ・傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）のない水平で安定した場所。 ・本機器および被験者の重さに耐えうる場所。 ・暖房器具の近く、または空調機の風が直接当たる場所には置かないでください。 ・化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。 ・室温が使用温度範囲内（+5℃～+35℃）の場所。 ・機器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。

 注意	
	<p><input type="checkbox"/> 製品の設置・移動時は、下記にご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本機器を移動する時は、支柱を完全に収納してから移動すること。 ・移動中に支柱のカーソルが落下してケガをする原因になります。 ・本機器を運搬用台車として使用しないこと。故障の原因になります。 ・屋外や平坦でない床面ではキャスターを使用して移動しないこと。故障の原因になります。 ・移動中に本体のまわりに人や物がないことを確認すること。 ・移動中に本体を壁や物などにぶつけないこと。故障の原因になります。 ・乱暴に取り扱わないこと。故障の原因になります。 ・本機器を移動する時は、ACアダプターやケーブル類を本体より取り外してから移動すること。
	<ul style="list-style-type: none"> ・本機器は重量物のため、設置、移動時に手や足をはさまないようにご注意ください。

2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> 専用ACアダプターに記載された電圧、周波数以外で使用しないでください。火災や感電、機器破損の原因になります。
 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> 機器が安全かつ正確に動作すること。 すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていること。 支柱が完全に収納された状態で電源を入れること。 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。 ACアダプターご使用の際は付属されている専用のACアダプターを使用すること。 安全に正しく使用するために使用前点検を必ず行うこと。 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。 取引や証明に使用される場合、製品の使用可能区域を本機器に貼付された重力加速度の範囲と本紙の「地域別重力加速度一覧」からご確認ください。 「ひょう量」「最小測定量」は定格銘板または本体の表示部をご確認ください。
	<ul style="list-style-type: none"> 本機器は人間の身長・体重を測定すること以外の目的で使用しないこと。 本機器の上に重いものを載せたり、本機器の下敷きにしないこと。火災・感電の原因になります。 ACアダプターおよびACアダプターの差込口が破損している場合は使用しないこと。感電や絶縁劣化により漏電火災の原因になります。 電池を交換する際は、全て新しい電池に交換し、新旧の電池を混在させないこと。故障の原因になります。 電池は+・-の極性に注意し、正しく設置すること。 当社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。 濡れた手で電池を交換しないこと。感電の原因になります。 充電電池（二次電池）は使用しないこと。

3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> 機器全般および被測定者に異常のないことを絶えず監視すること。 機器全般および被測定者に異常が発見された場合には、安全な状態で機器の動作を止める等適切な措置を講ずること。計量台の下に物が入り込んだ状態や、周囲の壁などとの接触を避けること。測定に影響します。 測定時は静かに計量台にのり、測定が終了するまで体を動かさないこと。
	<ul style="list-style-type: none"> 強磁界および強電界中では使用しないこと。 温度変化の激しい場所では使用しないこと。測定値に誤差を生じる恐れがあります。温度差のある場所に移動するような場合は、移動後十分時間が経過してからご使用ください。 ボールペンなど尖った物で表示部のスイッチ等を押さないこと。故障の原因になります。 支柱、補助バー、手すりに寄りかかったり、ぶら下がったりしないこと。転倒の恐れがあります。 計量台に飛びのったり、乱暴に取り扱わないこと。ケガや故障の原因になります。

4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。
	<ul style="list-style-type: none"> ケーブル類を取り外す時は、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。故障の原因になります。 長期間ご使用にならない場合は電池を抜いておくこと。

5. 機器が異常と思われた時は、次の処置をしてください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> 測定者および被測定者の安全を確保すること。 機器の動作を止め、電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜くこと。 機器に「故障」「使用禁止」等の表示を行い、速やかに当社までご連絡ください。 体重計の校正はお客様では行なえません。当社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

6. 保守・点検については次の点に注意してください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> お手入れの際は、感電防止のため、ACアダプターや乾電池を抜くこと。 しばらく使用しなかった機器を再使用する時は、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。 安全に正しく使用するため、使用前点検、保守点検は必ず行ってください。機器の使用・保守の管理責任は、設置者（施設、学校、病院・診療所）側にあります。使用前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。本機器を取りや証明に使用する場合、2年に1回定期検査（検定）を受けることが義務づけられています。定期検査は都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県にお問い合わせください。 定期検査中では測定モード切替スイッチを「はかりモード」に設定してください。
	<ul style="list-style-type: none"> 本機器の分解、および改造は絶対に行わないでください。ケガ、火災、感電の原因になります。

7. 強い電磁波やノイズにより誤動作を起こすことがありますので注意してください。

 注意	
	<p>■ 本機器は、周囲に強い電磁波やノイズ等が存在すると、誤動作を起こす恐れがあります。機器の使用時、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。</p>

 注意	
	<p>一般的な原因と対策の一例をあげます。</p> <p>【事例 -1】 携帯電話やマイクロ波治療装置等の近くでの使用 電波によって予期せぬ誤動作をして正確に測定できない恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器等の電源を切るよう指導する。 本機器を使用中はマイクロ波治療装置等の使用を控える。 <p>【事例 -2】 電源コンセント等を伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置等により対策する。 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。 他の電源コンセントから電源を取る。乾電池を使用する。 <p>【事例 -3】 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電）</p> <ul style="list-style-type: none"> 装置を使用する前に、測定者、被測定者と十分に放電を行う。 部屋を加湿する。 <p>【事例 -4】 落雷等による影響 近くで雷が発生した時は、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で機器を動作させてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無停電電源装置（JIS T0601-1 に適合している機種）を使用する。

8. 環境保護

 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> 本機器を廃棄する時は、各自治体のリサイクルプランに従い処理してください。

安全測定のための警告および注意

測定に関する警告および注意事項を記載致します。測定結果の自己判断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none">・表示器やケーブルでつまずかないよう、設置場所に注意してください。・本機器には角や段差があります。転倒したり、ぶつけてケガをしないよう注意してください。
	<ul style="list-style-type: none">・支柱、表示器、補助バーの上に登ったり、ぶら下がったりしないこと。ケガや転倒の恐れがあります。・計量台の端に乗らないこと。転倒の恐れがあります。計量台の中央部にのってください。・計量台に飛びのったり、端にのらないでください。ケガや転倒の恐れがあります。・支柱や補助バーに寄りかからないでください。転倒する恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none">・移動時に、計量台やキャスターに足をはさまないように注意してください。

お知らせ

- ・計量部には足型に合わせて正しい姿勢でおのりください。
- ・体動（揺らぎ）の大きい被測定者の場合、正しく測定できない場合があります。
- ・通常の測定は「身体計モード」でご使用ください。
- ・本機器の定期検査を受ける場合にのみ「はかりモード」に切り替えてください。
- ・測定中に動いたりした場合、正しく測定できません。

機器全体のご注意

本機器を安全に正しくご使用いただくため、本書をよく読み、大切に保管してください。注意事項は下記以外にも本書内に記載されています。

本機器は絶対に分解や改造をしないでください。

分解・改造された製品について、当社はいかなる責任も負いかねます。

本機器は幼児の手の届かない場所に保管してください。

ケガの原因になることがあります。

本機器はお住まいの自治体の規則に従い、正しく廃棄してください。

本機器は日本国内専用です。国外ではご使用頂けません。

身長体重計使用上の注意事項

設置上のご注意

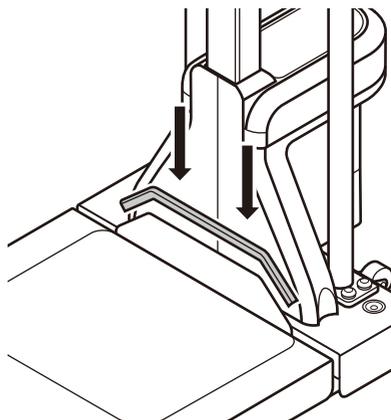
- ・ 本体を移動する際は補助バーを持ち、傾けて移動してください。
- ・ 支柱部を持って持ち上げる等の行為は避けてください。
- ・ 振動や風の影響を受けない、平らな場所に設置してください。
- ・ 落下や転倒など、本体に大きな衝撃または振動を与えないでください。
- ・ 湿気やほこりの多い場所でのご使用を控えてください。
- ・ 直射日光の当たる場所に本体を設置しないでください。
- ・ 外来電源ノイズや強力な電波・磁気などが発生する場所に、設置しないでください。
- ・ 水平器を見ながら底部にある高さ調整ネジ（6ヶ所）を回し、本体が水平になるように調整してください。
- ・ 長時間ご使用にならない場合は電池を抜いてください。
- ・ 濡れた手で電池を交換しないでください。
- ・ 電池交換は、全て新しい電池に交換し、新・旧の電池を一緒に使用しないでください。
- ・ 電池は+・-の極性に注意し、正しく取り扱ってください。

使用上のご注意

- ・ 体重計の校正はお客様では行えません。お買い求めの販売店にご相談ください。
- ・ 本機器は検定付計量器です。取引や証明に使用される場合、製品の使用可能区域を本体に貼り付けられている重力加速度の範囲と 35 ページ「12-1 地域別重力加速度一覧」からご確認ください。
- ・ 取引または証明に使用する「ひょう量」「最小測定量」は定格銘板および表示部に記載されています。
- ・ 本機器は使用温度範囲内でご使用ください。
- ・ 本機器を取引または証明に使用する場合、2年ごとに定期検査を受ける必要があります。定期検査には測定モード切替スイッチを「はかりモード」に設定し、ご使用ください。
- ・ 計量台に飛びのるなど、乱暴に取り扱わないでください。ケガや故障の原因になります。

足当てカバーの取付方法

本体から足当てカバーが外れてしまった場合は足当ての上にカバーを設置し、上から指で押さえて取り付けてください。



Bluetooth 無線技術に関する注意

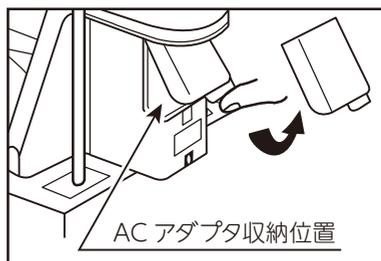
使用上のご注意

- ・ 2.4GHz 周波数帯の電波を利用しているため、周辺の環境や使用されている機器（無線LAN、テレビ、ラジオ、電子レンジ等）によって通信状況が悪くなる場合があります。
- ・ 電波使用を禁止された区域での使用は避けてください。
- ・ 周囲の機器にノイズ等の影響を与える場合があります。ラジオやテレビにノイズが発生した場合は、周辺での使用は避けてください。
- ・ ペースメーカー等の医療機器や、誤動作により人体や設備に損害を招く危険性がある機器の近くでは使用しないでください。誤動作の原因となる恐れがあります。
- ・ 本機器は電波法に基づく認証を受けていますので、本機器を使用する際に無線局の免許は必要ありません。ただし本機器を分解改造したり、証明シールは剥がさないでください。
- ・ 本機器は日本国内専用です。国外では使用できません。

1. 梱包内容

▼ 1-1 本体梱包内容

身長体重計 本体
操作説明書 / 保証書
電池ケース
ACアダプター ※
ホールドスイッチ
スイッチホルダー



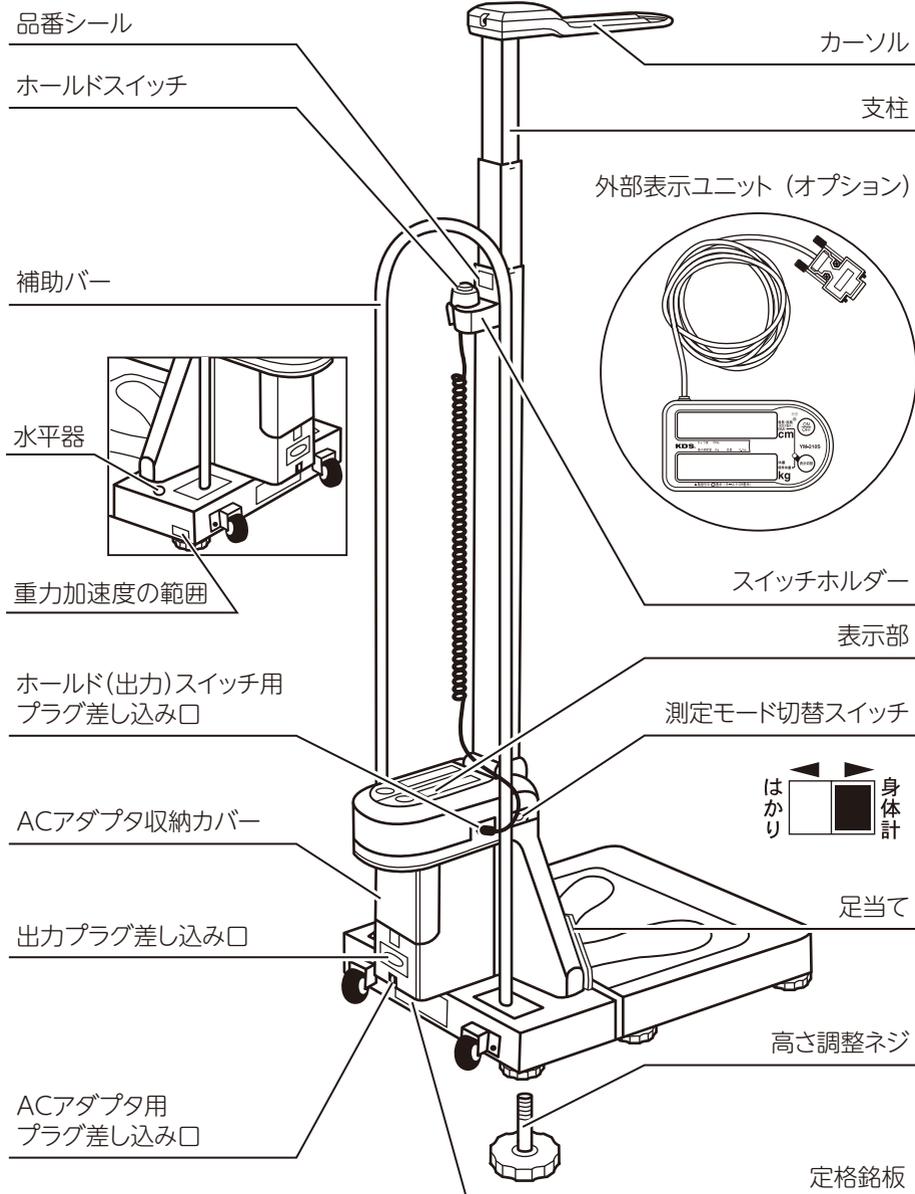
※ACアダプターは上図のようにACアダプター収納カバー内に梱包されています。

▼ 1-2 別売オプション

商品名	品番
外部表示ユニット	YM-210S
ホールドスイッチ (ホルダー付)	HS-3M
サーマルプリンター	CT-S280
CT-S280 用ケーブル (2m)	17J-925PN
コンピュータ専用ケーブル (2m)	17J-909C
サーマル紙 10 巻入 (CT-S280 用)	RP5880T
ACアダプター	AC-D09013

2. 各部の名称と機能

▼ 2-1 名称



▼ 2-2 表示部

※工場出荷時は表面に保護フィルムが貼られていますので、はがしてからご使用ください。

ホールド表示

- ・ ホールドスイッチを押し、表示値を一時保持（ホールド）した状態で表示します。

ON/OFF : 電源 ON/OFF キー

- ・ 電源の ON/OFF に使います。
- ・ オートパワーオフ機能によって **表示** が消えたときは再び電源 ON/OFF キーで ON してください。

Bluetooth 無線技術インジケータ

- ・ 点滅（待機中）、点灯（接続中）、消灯（OFF）

文字表示

身長表示部

H 0.0.0.0.0

身長計
(検定対象外)

cm

KDS

ひょう量 150kg

最小測定量 2kg 目量 0.1kg

DST-210SB

体重表示部

H 0.0.0.0.0

体重計

kg

▲風袋引中 □表示（ホールド中H表示）

ZERO : ゼロセットキー

- ・ 体重表示をゼロに、または風袋引きをセットします。（安定時のみ）

マイナス表示

- ・ 風袋引きなど数値がマイナスになれば、表示します。

ホールド表示

- ・ ホールドスイッチを押し、表示値を一時保持（ホールド）した状態で表示します。
- ・ 体重が安定すれば点滅表示します。

▼ 2-3 本体仕様

品番	DST-210SB	
品名	デジタル身長・体重計	
	身長計部	体重計部
検出方法	透過式フォト・インタラプタ方式	ロードセル方式
測定方法	支柱3段伸縮式	
測定範囲	85.0cm～209.0cm	2.0kg～150.0kg
表示	デジタル4桁 LCD表示	
表示単位	0.1cm (1mm)	0.1kg (100g)
精度	±1mm + 1digit	±0.1kg
機能	不完全収納時のErr表示 (基点検出機能)	ゼロセット(風袋引き)機能 表示値安定報知機能
	表示値保持(ホールド)機能、出力(コンピュータ・プリンター・外部表示ユニット)機能、オートパワーオフ機能、自己診断・修正機能	
使用温湿度範囲	+5℃～+35℃ / 75% RH 以下(結露なきこと)	
電源	専用ACアダプターまたは、単2形乾電池4本	
重量/外径寸法	12.2kg / 330 (W) × 492 (L) × 1035 (H) mm	
出力形式	RS-232C、Bluetooth無線技術	
材質	支柱/アルミ、台座/鉄、カーソル/ABS樹脂、補助バー/ステンレス	
付属品	ACアダプター、電池ケース、操作説明書、ホールドスイッチ、スイッチホルダー	

▼ 2-4 Bluetooth無線技術仕様

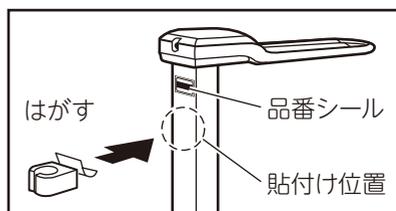
使用周波数帯域	2.4GHz 帯
通信方式	Bluetooth 4.2
通信距離(目安)	10m (class2)

3. 機器の設置

▼ 3-1 ホールドスイッチの取り付け方

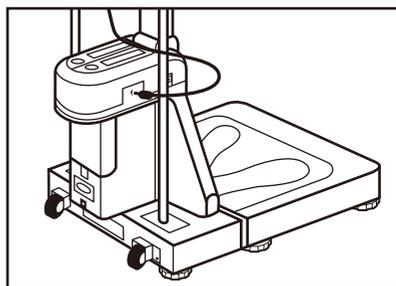
1. スイッチホルダーの取り付け方

スイッチホルダー裏面の紙をはがし、支柱の背面に取り付けてください。
支柱は完全に収納してから行ってください。
※カーソル後部にあたらないう、品番シールの下側に取り付けてください。



2. ホールドスイッチの取り付け方

ホールドスイッチ用プラグ差し込み口にプラグを差し込み、スイッチホルダーにセットします。



▼ 3-2 機器を水平に設置する

本機器は正確な測定を行う為に6本アジャスター方式を採用しておりますので、以下の手順により製品を水平に設置してください。

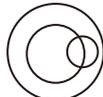
1. 機器底面に設置されている6つの高さ調整ネジのうち、真ん中の2本を可能な限り上にあげておきます。

2. 四隅の高さ調整ネジで、水平器の気泡が正常範囲になるよう調整します。

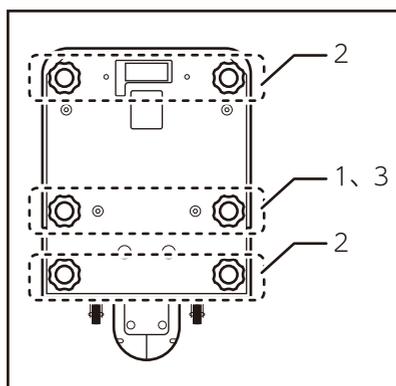
正常範囲



異常



3. 真ん中の2本の高さ調整ネジが設置面から浮かないよう、可能な限り下げます。この時、他の高さ調整ネジよりも高くないようご注意ください。



※一度台座に乗り、気泡の位置が正常範囲であることを確認してください。

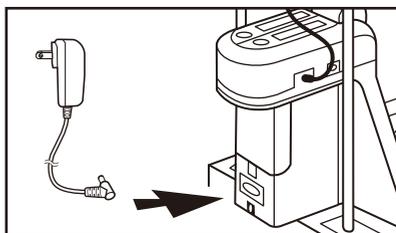
4. 電源について

本体は AC、DC（電池）両電源が使用できます。

▼ 4-1 AC 電源での使用

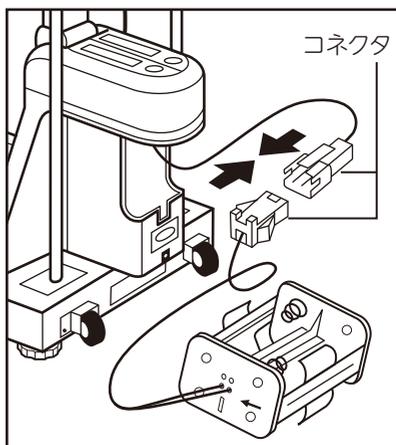
- 1.AC アダプター収納カバーを外し、AC アダプター（付属品）を取り出す。
- 2.AC アダプター用差し込み口へ AC アダプターのプラグを差し込み、一方をコンセントに差し込む。
- 3.AC アダプター収納カバーを元の位置へはめ込む。

※ 本機器専用 AC アダプター以外は使用しないでください。



▼ 4-2 電池での使用

- 1.単 2 形乾電池を 4 本使用します。
（マンガン乾電池で連続使用時間約 35 時間）LR14、AM2 のアルカリ乾電池も使用可能です。
- 2.AC アダプター収納カバーを外し、収納上部より出ているリード線を引き出してください。
- 3.付属の電池ケース側コネクタとリード線側コネクタを接続する。
- 4.電池の+・-の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 5.リード線をまわしコネクタが上方へ行くように、電池ケースを収納部に入れてください。
- 6.AC アダプター収納カバーを取り付けてください。



※ 電池交換の場合は、消耗した乾電池を取りはずし、4 本同時に新しい乾電池（単2）と交換してください。

5. 使用方法

▼ 5-1 ご使用前に



地域により地球の重力が変わるため、体重にも微妙に影響します。
ご使用前に、35 ページの「12-1 地域別重力加速度一覧」を参照頂き、
本体台座側面の重力加速度の範囲と合致している事をご確認ください。

▼ 5-2 測定を開始する（身長体重計モード）

1. AC アダプターまたは電池をセットする。
(16 ページ「4. 電源について」参照)
2. 何も乗せない状態にする。
3. 支柱を完全収納する。
4. 測定モード切替スイッチを「身体計」側に切り替える。
5. **ON/OFF** キーを押す。(電源 ON 状態)
表示が全点灯 / 全消灯を 5 回繰り返します。

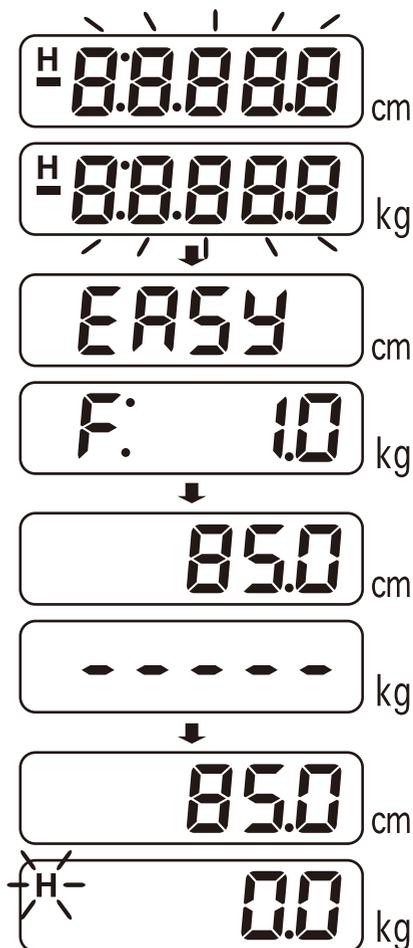
※右に示す **F: 10** の表示は機器により異なります。

ご注意

- ※ 0.0kg を表示する前に台座の上ののるとエラーになります。
- ※ 定期検査には測定モード切替スイッチの「はかりモード」をご使用ください。

6. 安定状態

H の点滅で安定状態を知らせます。

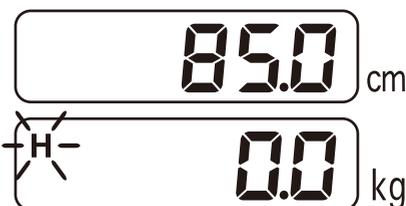


※電源 ON 時、身長表示部に **Err** が表示された場合、支柱を完全に収納してください。(19 ページ「6-1 基点検出機能」参照)

※体重表示部に **Err** が表示された場合、自己診断・修正機能を参照ください。

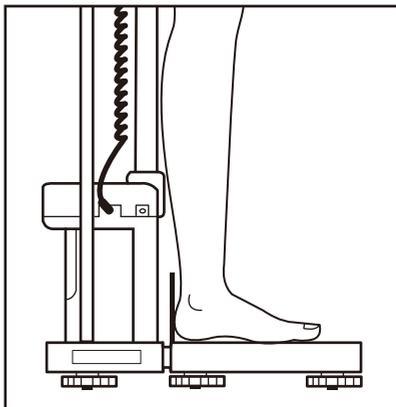
▼ 5-3 身長・体重測定

この状態で身長、体重が測定できます。カーソルを身長以上に引き上げた状態にしてください。

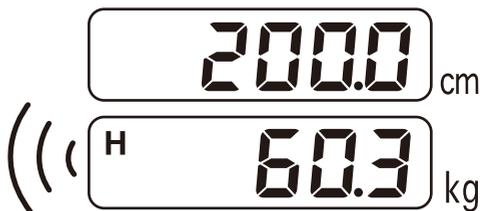


1. 台座の上ののる。
かかとを足当てにつける。
あごをひく。
背筋を伸ばす。

ご注意
支柱には背中をもたれないでください。

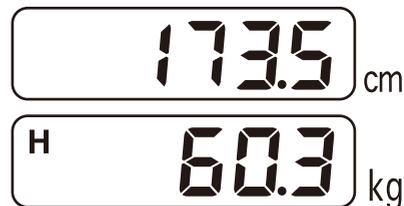


2. 体重表示が安定するのを待つ。
ブザーで体重安定を知らせると共に、
H表示が固定になり、ホールド状態に
入ります。
(19 ページ「6-2 体重表示値安定報
知機能」参照)



3. カーソルを下げ、身長と体重を読み取る。

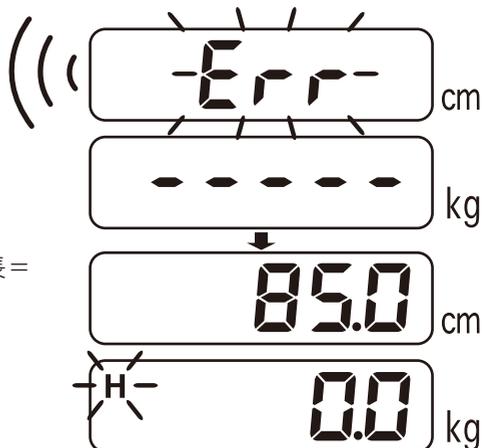
ご注意
必ず体重表示が安定してから、カーソルを押しあてて測定してください。カーソルを頭に押しあてた後、体重表示が安定しますと、カーソルにかかる力が体重に加算され表示します。



6. いろんな機能

▼ 6-1 基点検出機能

電源 ON 時、支柱が完全に収納していない場合、身長表示部に **Err** が点灯表示されブザーが断続で 5 回なります。



支柱を完全に収納すれば、基点（身長＝85.0cm）を表示し、身長が測定できます。

▼ 6-2 体重表示値安定報知機能

体重表示が 1 秒以上安定した時、H（ホールド表示）の点灯とブザーの 2 回断続音で安定状態を知らせます。

※ 体重表示が 10kg 以上の場合、安定後 3kg 以上の変動があるまで表示が保持されます。（はかりモードでは、はたらきません。）

※ 10kg 未満の場合または、はかりモードではブザーがならず H の点滅で安定状態を知らせます。

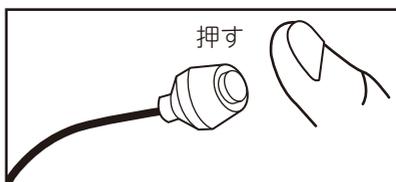


▼ 6-3 ホールド（表示値一時保持）機能

表示値を一時保持します。その間、カーソルを上下したり、台座から被測定者が降りても、表示値は変わりません。

ただし台座から降りて9秒たつと、再度人がのれば自動的にホールドが解除されます。

1. 身長・体重が安定している時、ホールドスイッチを押す。（ホールド状態）
表示部のH（ホールド表示）が点灯して、ホールド状態を知らせます。
2. もう一度ホールドスイッチを押せば…。
ホールド状態が解除され、現在の身長・体重の値を表示します。
（ホールドスイッチを押すごとにブザーが1回なります。）

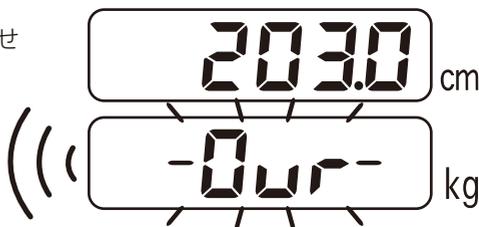


▼ 6-4 体重測定値オーバー表示機能

体重は150.8kgを上限としています。

150.8kgを超えた時、体重オーバーを知らせます。

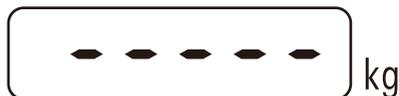
台座から降りると元に戻ります。



▼ 6-5 バッテリーアラーム機能

乾電池でご使用の場合、乾電池が消耗しますと、低電圧（LOW BATTERY）の意味として、身長表示部に「L b」が表示されます。

「L b」表示が出れば、消耗した乾電池を取りはずし、4本同時に新しい乾電池（単2）と交換してください。



▼ 6-6 オートパワーオフ機能

10分以上測定値に変化がない場合、節電のため電源が自動的に切れます。(電源 OFF 状態になる。)

(30 ページ「11-4 オートパワーオフの設定 (自動節電機能)」参照)

▼ 6-7 ブザー機能

ブザーで機器の状態をお知らせします。

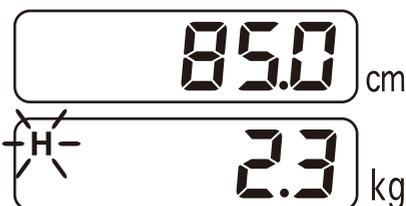
(30 ページ「11-5 ブザーの設定」参照)

機能の種類	音の回数
基点検出エラー	5 回断続音
体重表示安定	2 回断続音
ZERO キー	1 回音
ホールド (出力) スイッチ	1 回音
ホールド自動解除	1 回音

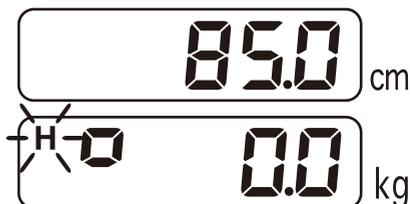
▼ 6-8 ゼロセット（風袋引き）機能

風袋を引いた体重が測定できます。

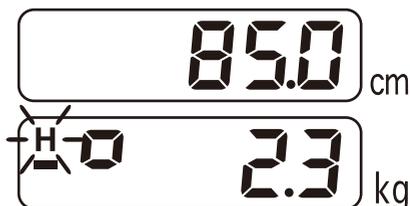
1. 台座に衣類や容器をのせます。



2. 表示の安定を確認し、**ZERO** キーを押す。0.5kg 以上の場合に有効です。

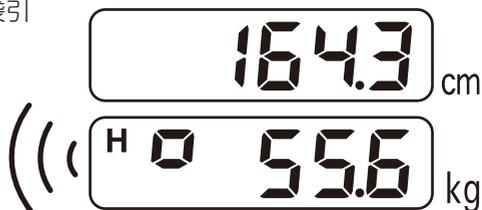


3. 衣類や容器を取り除きます。



4. 通常の身長・体重の測定を行うと、風袋引きの体重が表示されます。

※ プリントアウト時、風袋引きが印字されます。



(風袋引き中  表示します。)

ご注意

※ 3. の状態で再び **ZERO** キーを押すと風袋引きは解除されます。

※ 電源を切る（電源 OFF 状態）と風袋引きは解除されます。

※  表示は体重表示が 0.5kg 以上で **ZERO** キーを押した場合のみ表示されます。

7. 測定結果のプリントアウト

デジタル身長・体重計は、オプションの専用サーマルプリンター（CT-S280）とCT-S280用ケーブル（17J-925PN）、付属のホールドスイッチ（HS-3M）をご利用いただければ、測定結果や肥満度判定のプリントアウトができます。

▼ 7-1 集団検診モードと個人別肥満度検診モード

集団検診と個人別肥満度検診のプリントアウト（印字）ができます。
肥満度判定には BMI とブローカ変法の判定方法が選択できます。

	集団検診モードの印字内容	個人別肥満度検診モードの印字内容	
身長 / 体重	連続番号 (1-9999) 身長、 体重	BMI	身長、体重、肥満度判定 (肥満度%表示)
		ブローカ変法	身長、体重、肥満度判定 (肥満度%表示)

ご注意

※ 工場出荷時、個人別肥満度検診モードは BMI に設定されています。

ブローカ変法および集団検診モードへの変更は、29 ページ「11-3 プリンター出力モードの設定（肥満度判定機能）」を参照ください。

※ 個人別肥満度検診モードでは、以下の場合、身長、体重のみの印字で、肥満度判定は印字しません。

- ・ BMI
身長 100cm 未満または体重 10kg 未満のとき
- ・ ブローカ変法
身長 120cm 未満のとき

▼ 7-2 出力信号

表示データ（身長・体重）は EIA RS-232C に準ずるインターフェイスにより、外部出力します。フォーマットはプリンター用、コンピュータ用の 2 種類が準備してあります。2 種類の専用ケーブル接続時に自動設定されます。

▼7-3 使用方法

1. 本体出力プラグ差込み口に CT-S280 用ケーブルのプラグ（本体側）を差し込む。
2. 専用プリンターのプラグ差込み口に CT-S280 用ケーブルの他方のプラグ（プリンター側）を差し込む。
3. プリンターに付属の AC 電源コードと AC アダプターを使用して電源を入れる。
4. 測定値が安定した状態で、出力スイッチを押せば、測定結果または肥満度判定を印字します。（プリントアウトする内容は設定に応じて変わります。詳細は 29 ページ「11-3 プリンター出力モードの設定（肥満度判定機能）」を参照してください。）
CT-S280 用ケーブルを本体側へ差し込めば、ホールドスイッチは出力スイッチになり、この間、ホールド機能ははたらきません。

※ 詳しくは、プリンターに付属の取扱説明書（CD-ROM）をお読みいただいてからご使用ください。

BMI による肥満度判定

BMI	18.5 未満	18.5 以上 25 未満	25 以上 30 未満	30 以上 35 未満	35 以上 40 未満	40 以上
日本肥満学会 による判定	やせ	普通	肥満 1 度	肥満 2 度	肥満 3 度	肥満 4 度
身長体重計の ヒマンド判定	ヤセガタ	フツウ	ヒマンド 1	ヒマンド 2	ヒマンド 3	ヒマンド 4

▼7-4 プリンターの印字例

集団検診モード	BMI による肥満度判定	ブローカ変法による 肥満度%表
<pre> No. 1 シンチウ = 192.0 cm タリゲウ = 76.1 kg 【 フツウヒキ : 0.0 kg 】 No. 2 シンチウ = 157.9 cm タリゲウ = 47.0 kg 【 フツウヒキ : 0.0 kg 】 No. 3 シンチウ = 177.5 cm タリゲウ = 65.2 kg 【 フツウヒキ : 0.0 kg 】 </pre>	<pre> シンチウ : 175.3 cm タリゲウ : 67.2 kg BMI : 21.9 ヒマンド/ヒキ: フツウ ***** ヒマンド* ヒキ* ヒマンド ***** ヒキガタ : 56.8 kg - イカ アウ : 56.9 kg - 76.7 kg ヒマンド 1 : 76.8 kg - 92.1 kg ヒマンド 2 : 92.2 kg - 107.5 kg ヒマンド 3 : 107.6 kg - 122.8 kg ヒマンド 4 : 122.9 kg - イジヤウ 【 フツウヒキ : 0.0 kg 】 </pre>	<pre> シンチウ : 169.7 cm タリゲウ : 68.9 kg ブキヒキゲウ : 56.4 kg - 68.9 kg タリゲウゲウ : 62.7 kg ヒマンド : + 9.9 % 【 ブローカ変法%表 】 【 フツウヒキ : 0.0 kg 】 </pre>

8. コンピュータとの接続（ケーブル接続）

デジタル身長・体重計は EIA RS-232C に準じ、外部出力します。コンピュータ専用ケーブル（17J-909C）を接続すると、自動的にコンピュータ用フォーマットで出力できます。

▼ 8-1 マニュアルモードとコマンドモード

本体側の出力プラグ差込み口へコンピュータ専用ケーブルのプラグを差し込めば、自動的にコンピュータ出力になります。

コンピュータとの通信には 2 つのモードから選択できます。

（モード設定は 31 ページ「11-6 コンピュータ出力モードの設定」を参照ください。）

	マニュアルモード	コマンドモード
身長 / 体重	出力スイッチを押すと身長、体重のデータを出力する。	コンピュータからのコマンド入力により身長、体重のデータを出力する。

ご注意

肥満度判定データは出力しません。

▼ 8-2 インターフェイス仕様

出力規格	EIA RS-232C に準ずる
伝送形式	全二重、調歩同期式
制御方式	RTS、CTS
データビット長	8ビット
ボーレート	4800 ボー
パリティチェック	あり (EVEN)
スタートビット	1ビット
ストップビット	1ビット
使用コード	ASCII

9. コンピュータとの接続 (Bluetooth 無線技術接続)

デジタル身長・体重計は、測定値を Bluetooth 無線技術を使用して送信することで、データを記録したり、離れた場所でも測定結果が確認できます。

Bluetooth 無線技術についての詳細な説明は、ホームページの以下にてご確認ください。

データの記録が可能な「のびおくん SB」について



DST-210SB モニターについて



10. 外部表示ユニット（オプション）との接続

デジタル身長・体重計は外部表示ユニット（YM-210S）の接続を自動的に認識し、測定値を出力します。

外部表示ユニットは本機器の表示を離れた場所で確認できます。個人情報の保護のため表示部を隠して使用するような場面でお使いいただけます。

また、外部表示ユニットの表示モードを切り替えることにより、測定値から BMI/ 標準体重を自動計算して表示できますので健康管理の参考値としてご利用いただけます。

外部表示ユニットについての詳細は当該の取扱説明書をご覧ください。

▼ 10-1 インターフェイス仕様

通 信 方 式	RS-232C
使 用 コード	ASCII
ボ ー レート	4800bps
データビット長	8bit
パリティビット	EVEN
ストップビット	1

11. 機能の設定

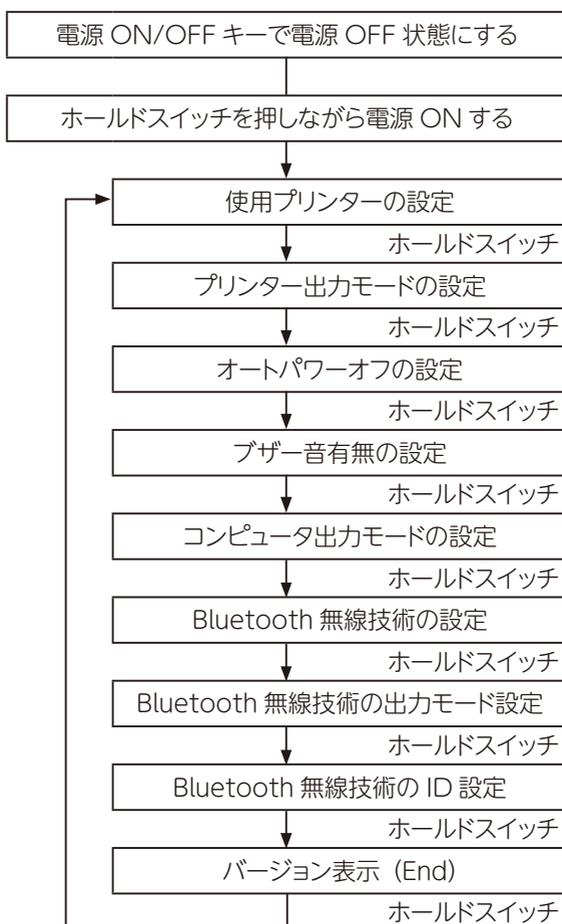
ホールドスイッチを利用すると機能の設定が行えます。

▼ 11-1 機能の設定概略図

ホールドスイッチ、**ZERO** キーおよび電源 **ON/OFF** キーで各種機能の設定が簡単にセットできます。

【各種キーの主な動作】

- ホールドスイッチ …… 設定項目を次に送ります。
- **ZERO** キー …… 設定値を変更します。(一部例外を除く。)
- **ON/OFF** キー …… 電源 ON もしくは設定値を保存し、電源 OFF します。



機能設定状態へ入るため、下記の操作を行ってください。
ホールドスイッチを押しながら、電源 ON する。

▼ 11-2 使用プリンターの設定

旧型デスクトッププリンター（KPR-414）を使用する際にモードを切り替えます。

1. **[ZERO]** キーを押すごとに、点滅部分の表示が変わります。

P: 0 使用プリンター KPR-414
P: 1 使用プリンター CT-S280
いずれかに設定してください。



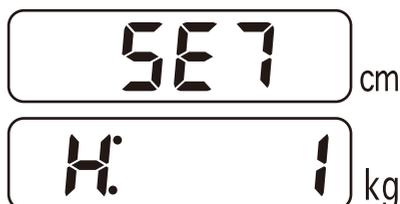
2. **[ON/OFF]** キーで設定を完了するか、ホールドスイッチを再び押し、「プリンター出力モードの設定」へ進んでください。

▼ 11-3 プリンター出力モードの設定（肥満度判定機能）

プリントアウトする内容を、用途に応じて切り替えることができます。

1. **[ZERO]** キーを押すごとに、点滅部分の表示が変わります。

H: 0 集団検診モード
H: 1 BMI による肥満度判定
H: 2 ブローカ変法による肥満度判定
H: 3 BMI による肥満度%表示
H: 4 ブローカ変法による肥満度%表示
いずれかに設定してください。



2. **[ON/OFF]** キーで設定を完了するか、ホールドスイッチを再び押し、「オートパワーオフの設定」へ進んでください。

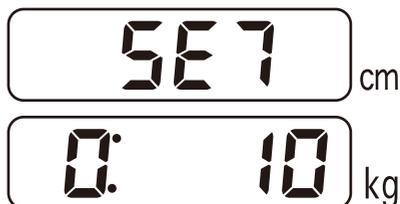
▼ 11-4 オートパワーオフの設定 (自動節電機能)

一定時間、本体を動作させないと、電源を自動的に切り節電します。

1. **[ZERO]** キーを押すごとに、点滅部分の表示が変わります。

0: 10 オートパワーオフ 10分
0: 30 オートパワーオフ 30分
0: 60 オートパワーオフ 60分
0: OFF なし

いずれかに設定してください。



2. **[ON/OFF]** キーで設定を完了するか、ホールドスイッチを再び押し、「ブザーの設定」へ進んでください。

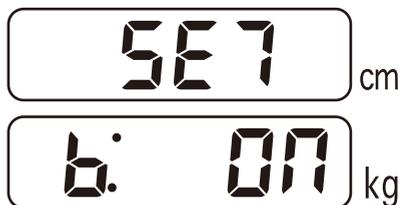
▼ 11-5 ブザーの設定

ブザー音を消したり、ならしたりできます。

1. **[ZERO]** キーを押すごとに、点滅部分の表示が変わります。

b: 00 ブザー音あり
b: OFF ブザー音なし

いずれかに設定してください。



2. **[ON/OFF]** キーで設定を完了するか、ホールドスイッチを再び押し、「コンピュータ出力モードの設定」へ進んでください。

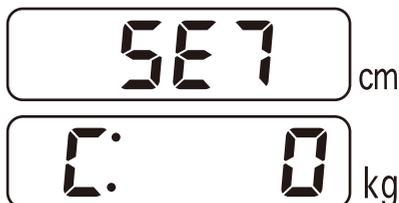
▼ 11-6 コンピュータ出力モードの設定

コンピュータ接続時、測定値の出力をする場合のスイッチを下記のいずれかに設定できます。

- マニュアルモード - 出力スイッチ（ホールドスイッチ）
- コマンドモード - コンピュータのキーボードなど

1. **[ZERO]** キーを押すごとに、点滅部分の表示が変わります。

- C:** **0** マニュアルモード
 - C:** **1** コマンドモード
- いずれかに設定してください。



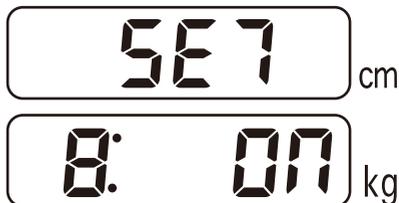
2. **[ON/OFF]** キーで設定を完了するか、ホールドスイッチを再び押し、「Bluetooth 無線技術の設定」へ進んでください。

▼ 11-7 Bluetooth 無線技術の設定

Bluetooth 無線技術機能の有効 / 無効を切り替えます。

1. **[ZERO]** キーを押すごとに点滅部分の表示が変わります。

- B:** **ON** 有効
 - B:** **OFF** 無効
- いずれかに設定してください。



2. **[ON/OFF]** キーで設定を完了するか、ホールドスイッチを再び押し、「Bluetooth 無線技術の出力モード設定」へ進んでください。

▼ 11-8 Bluetooth 無線技術の出力モード設定

測定値の出力トリガーを設定します。連続出力モードでは表示データを 1 秒間に 5 回以上出力します。

シングル出力モード - 出力スイッチ

連続出力モード - 自動

1. **[ZERO]** キーを押すごとに、点滅部分の表示が変わります。

d 0 シングル出力モード

d 1 連続出力モード

いずれかに設定してください。



2. **[ON/OFF]** キーで設定を完了するか、ホールドスイッチを再び押し、「Bluetooth 無線技術の ID 設定」へ進んでください。

▼ 11-9 Bluetooth 無線技術の ID 設定

本機器を複数台同時に使用する場合に設定を変更します。

1. データを受信するアプリケーションソフト側で機器を識別できるように、**[ZERO]** キーで 0～9 の範囲で ID を設定してください。



2. すべての機能の設定は終了しましたので、電源を OFF し、設定を完了してください。電源 OFF せず、ホールドスイッチを押すと「END」が表示されます。



※「END」表示中、もう一度ホールドスイッチを押すと、初めから機能の設定が行えます。終了の場合は電源 OFF し、設定を完了してください。

▼ 11-10 工場出荷時の設定

工場出荷時、下記の通り設定されています。

設定項目	初期設定	LCD 表示		
使用プリンターの設定	CT-S280	SE7	P:	1
プリンター出力モード	BMI による肥満度判定	SE7	M:	1
オートパワーオフ	10 分	SE7	O:	10
ブザー音	ブザー音あり	SE7	b:	07
コンピュータ出力モード	マニュアルモード	SE7	C:	0
Bluetooth 無線技術	有効	SE7	B:	07
Bluetooth 無線技術 出力モード	シングル出力モード	SE7	d:	0
Bluetooth 無線技術 ID	ID=0	SE7	R:	0

▼ 11-11 自己診断・修正機能

工場出荷時には万全を期し、製品検査を行っておりますが、輸送途上や測定場所の種々の条件の変化により各機能の設定内容が変化してしまうことがまれにあります。

このような不都合が生じないよう、チェック機能で、本体内部の自己診断や自己修正を行います。

電源 ON 時に下記の表示が出たとき、修正手順に従い正常な状態へ戻してください。

●一部分自己修正

体重表示部に異常が発生した箇所に「Err」（エラー）が表示されます

- Err 1 RS-232C 設定エラー
- Err 2 出力設定エラー（プリンター・コンピュータ・Bluetooth 無線技術）
- Err 3 ブザー、オートパワーオフ設定エラー
- Err 4 複数箇所の設定エラー
- Err 5 設定記録時のエラー



[ZERO] キーを押すと CLr、End が表示され、修正処理が完了します。



一度電源 OFF し、測定してください。

※異常発生箇所が工場出荷時設定に変更されていますので、必要に応じて再度設定ください。

●全体自己修正

Err 表示がなく CLr、End がいきなり表示された場合、すべての内容が工場出荷時設定に戻され、自己修正を完了します。

電源 OFF し、必要に応じて再度設定ください。



▼ 11-12 はかりモード

●定期検査を受ける場合に使用します。

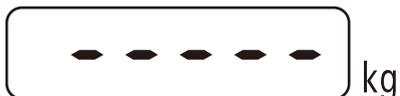
はかりモードの場合、「体重表示が 10kg 以上の場合、安定後 3kg 以上の変動があるまで表示を保持する」機能がはたらきません。

●測定モード切替スイッチをはかりモードにし、電源 ON します。

表示が全点灯 / 全消灯を 5 回繰り返します。

※ 右に示す  の表示は機器により異なります。

●定期検査には、はかりモードを使用してください。



12. 重力加速度設定値および使用区域

▼ 12-1 地域別重力加速度一覧

重力加速度と使用可能な地域の分類を下表に記します。

2ヶ所に記載されている都道府県は、どちらの重力加速度の範囲でも使用できます。

使用地域の表記 重力加速度の範囲	使用可能地域（都道府県）
9.803 ~ 9.807m/s ²	北海道
9.800 ~ 9.804m/s ²	青森県、岩手県、秋田県、宮城県
9.798 ~ 9.802m/s ²	宮城県、山形県、福島県、新潟県、茨城県
9.796 ~ 9.800m/s ²	栃木県、富山県、石川県、福井県、千葉県、群馬県、埼玉県、 神奈川県、山梨県、東京都（除島）、静岡県、岐阜県、愛知県、 三重県、大阪府、兵庫県、滋賀県、京都府、和歌山県、奈良県、 島根県、岡山県、鳥取県、山口県、広島県
9.794 ~ 9.798m/s ²	山梨県、長野県、岐阜県、神奈川県、東京都（全域）、静岡県、 愛知県、三重県、大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県、岡山県、 鳥取県、山口県、広島県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県、 長崎県、福岡県、佐賀県、大分県、熊本県、鹿児島県（除島）、 宮崎県
9.791 ~ 9.795m/s ²	宮崎県、鹿児島県（島）
9.789 ~ 9.792m/s ²	沖縄県

ご注意

本機器の体重計部は検定付きの計量器ですので使用可能な地域が決められています。
製品に貼付された重力加速度の範囲と上表にて、使用可能な地域をご確認ください。

13. 使用前点検



警告



・安全に正しく使用するため使用前点検は必ず行ってください。

一日の最初に使用する時、以下の使用前点検を行ってください。

▼ 13-1 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題ないことを確認してご使用ください。

- ・本体、付属品も含め変形や破損はないか。
- ・補助バーおよび支柱がしっかりと固定され、ガタつきがないか。
- ・支柱の動作を確認し異常がないか。
- ・汚れがひどくないか。
- ・濡れていないか。(特に台座部)

ACアダプター

- ・本体のコネクタにプラグが確実に挿入されているか。
- ・電源ケーブルの上に重いものを置いたり、本体やオプション品の下敷きになっていないか。
- ・電源ケーブル、プラグは傷んでいないか。

オプション品

- ・サーマルプリンターまたは外部接続機器（コンピュータ等）への通信ケーブルに損傷、接続ずれはないか。
- ・サーマルプリンターの用紙は装着されているか。

▼ 13-2 電源投入後

- ・けむりが出たり、変なにおいはないか。
- ・異常な音が聞こえないか。

測定部

- ・カーソルを動かし表示上の異常はないか。

表示部

- ・表示上で異常はないか。
- ・カーソルを動かし、表示上で異常はないか。

上記の「使用前点検」で設定等が違う場合、本取扱説明書をご参照の上、修正を行ってください。

14. 保守点検

本機器を正しくお使いいただくために、定期的に保守点検を実施してください。保守点検の主な内容は以下の通りです。

▼ 14-1 電源投入前

項目	内容
外観	落下等による変形、破損の有無
	各部の汚れ、サビ、傷の有無
	補助バーのガタつきの有無
操作部	スイッチ類の破損、ガタつきの有無
表示部	画面の汚れ、傷の有無
測定部	カーソルの損傷、動作異常の有無
支柱部	支柱のガタつき、および上下動作異常の有無
記録部 (オプション)	サーマル用紙が指定品であること
電源部	電源ケーブルの損傷の有無
	表示器本体のコネクタにしっかりと挿入されていること
接続ケーブル	電源ケーブルや接続ケーブルの上に、重いもの、イス、本体等がのっていないこと

▼ 14-2 電源投入後

項目	内容
外観	けむりが出たり、変なにおいがしないこと
	異常な音がしないこと
操作部	スイッチ類の破損、ガタつきの有無
表示部	表示装置のマーク、記号、数字等の表示欠けの有無
測定部	実測し測定動作を確認し異常がないこと
データ処理 (他コンピュータ等への接続の場合)	測定値を表示確認し異常がないこと
記録部 (オプション)	サーマル用紙の有無
	サーマル用紙が正しく紙送りされること
	テスト印刷による印字欠けを確認し異常がないこと
電源部	電源電圧を確認し異常がないこと

・機器に異常がある場合は、点検にお出しください。

15. こんな時には……故障かな? と思う前に

修理依頼される前に、もう一度ご確認ください。

現象	確認または調整
電源 ON しても何も表示しない。	AC アダプターは正しく差し込まれていますか? 電池は正しく入っていますか? 電池で表示し AC アダプターで表示しない場合は、新しい専用 AC アダプターをご購入ください。
電源 ON しても身長計部に Err がでる。	支柱は完全に収納されていますか? スイッチホルダーがカーソルの接触していませんか?
荷重と表示がズれている。	台座が障害物に接触していませんか? 重力加速度の範囲と使用区域はありますか?
身長表示部に文字を表示する。	機能の設定状態になっていませんか? 自己診断・修正機能がはたらいていませんか?
ZERO キーを押しても、体重表示部がゼロにならない。	表示値安定状態になっていませんか? 非安定状態では ZERO キーは、はたらきません。
ZERO キーを押すと、体重表示部左上に  が表示される。	0.5kg 以上を表示している場合、 ZERO キーは風袋引きとしてはたらきます。
ホールドスイッチを押しても表示がホールドされない。	表示値安定状態になっていませんか? 非安定状態ではホールドスイッチは、はたらきません。
個別肥満度検診モードで、肥満度判定のプリントをしない。	測定結果が規定値以上ありますか? (23 ページ「7-1 集団検診モードと個人別肥満度検診モード」参照)
キー、スイッチがきかない。表示が変化しない。	AC アダプターまたは、電池を抜いて電源を切り、もう一度最初から始めてください。
ホールドスイッチ (出力スイッチ) を押してもデータが出力されない。	専用ケーブルを使用していますか? 表示値安定状態になっていませんか?

ムラテックKDS株式会社

本 社 〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合町 3
TEL : 0120-25-5548
FAX : 075-661-2764
<https://muratec-kds.jp/>



本社営業部	TEL : 075-671-1550	FAX : 075-661-2764
新潟営業所	TEL : 0256-35-5481	FAX : 0256-35-6317
東京営業所	TEL : 03-5620-1051	FAX : 03-5620-1053
名古屋営業所	TEL : 052-852-7621	FAX : 052-852-7624
兵庫営業所	TEL : 0794-83-3411	FAX : 0794-82-5915
福岡営業所	TEL : 092-953-5781	FAX : 092-953-5784